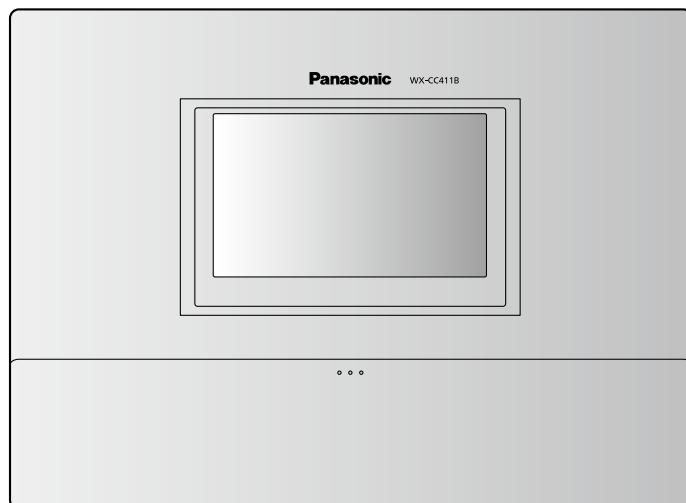


Panasonic®

取扱説明書 ブラウザ編

センター モジュール

品番 WX-CC411B



はじめに

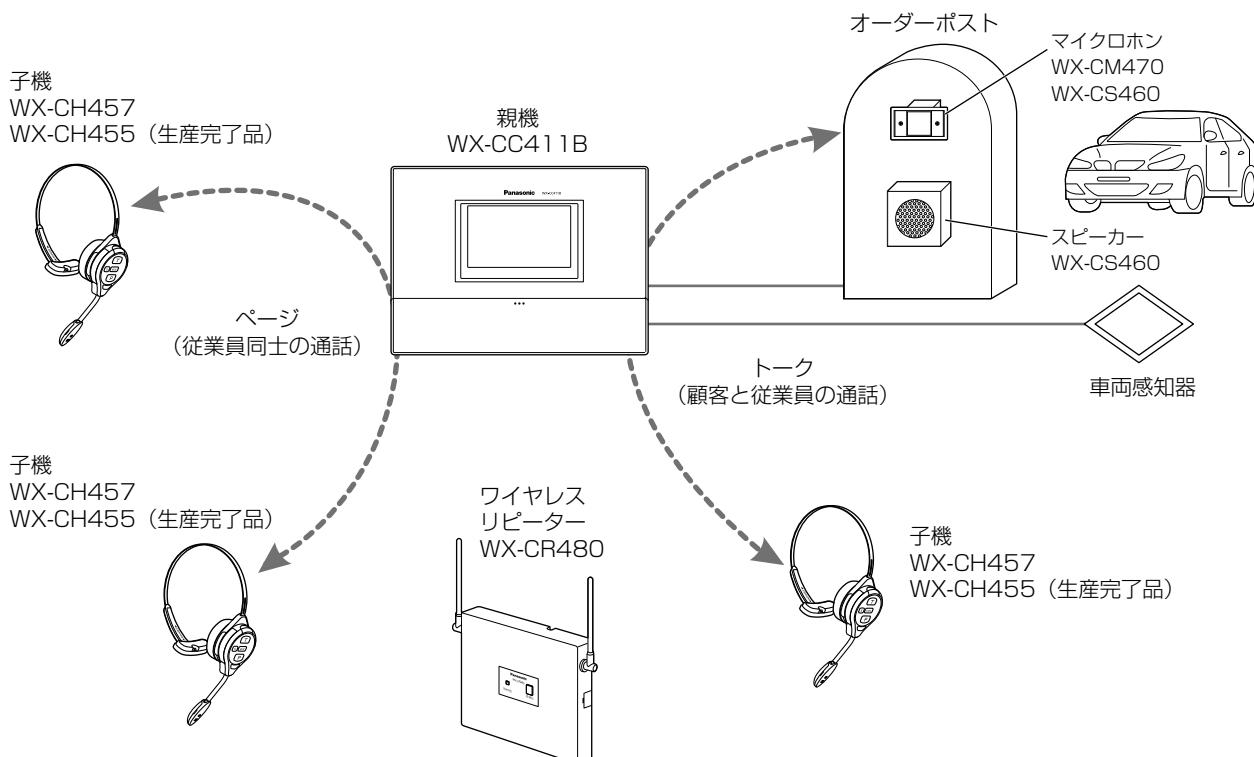
■商品概要

センターモジュールWX-CC411Bは、ドライブスルー型店舗で使用されるワイヤレスインターラムシステムの親機です。

- 本機はドライブスルー店舗のシングルレーンに対応します。
- 1.9 GHz帯DECT※準拠方式を採用することにより、広いエリアで明瞭な会話ができ、干渉を受けることが少なく安定した通信ができます。
※ DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications) : デジタルコードレス電話の通信規格
- ワイヤレスリピーター (WX-CR480) を設置することで、カバーエリアをさらに広げることができます。
- 7 kHzまでの周波数特性 (ワイドバンド) に対応しており、オーダーポストの顧客との通話、およびオールインワンヘッドセット間の通話をワイドバンド音声にすることができ、会話が聞き取りやすくなります。
- 強力なエコーキャンセラーとデジタルノイズリダクションにより、高い音声の明瞭度が得られます。
- キャビネットは壁掛けに対応しており、簡単に設置できます。
- 1台あたり32台の子機を登録できます。また、4人同時に通話が可能です。
- タッチパネル付7型液晶画面を持ち、簡単に操作できます。
- イーサネットでIPネットワークに接続し、リモート操作が可能です。
- SDカードで設定内容のバックアップとリストア、店舗独自のメッセージの保存ができます。
- スケジューラを内蔵しており、指定した時間にグリーターメッセージを差し替えたり、リマインダーメッセージを自動的に再生することができます。
- i-PRO社製ネットワークカメラを4台まで登録し、その映像を本機の液晶画面で確認することができます。
- アラート信号を受け取ってアラートメッセージを子機に通知したり、外部デバイスに信号を出力したり、アラートEメールを外部に送信することができます。

■システムイメージ図

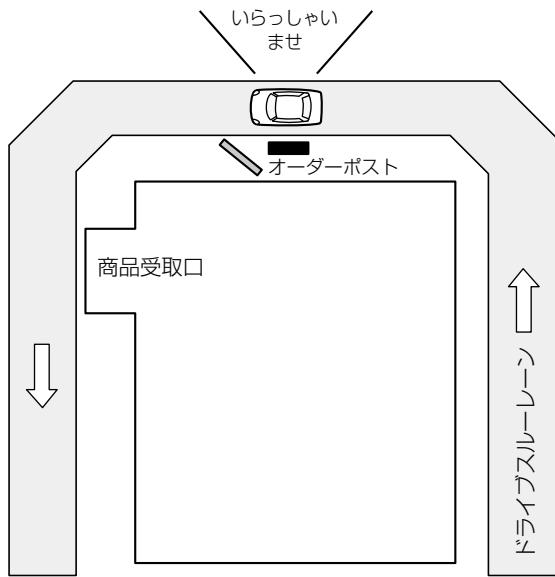
センターモジュールと子機が無線接続することで、子機同士、または子機とオーダーポストにいる顧客との通話ができます。



はじめに

■運用について

本システムでは、シングルレーンのドライブスルーに適した運用をサポートします。
オーダーポストが1台のみ設置されている環境下での運用をシングルレーンと言います。



■取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書 設置編、取扱説明書 設定編 (PDFファイル) および取扱説明書 ブラウザ編 (PDFファイル) で構成されています。

- 取扱説明書 設置編 : 必要な機器との接続や設置のしかた、設定方法 (抜粋) について説明しています。
- 取扱説明書 設定編 (PDFファイル) : 本機を使用するにあたっての設定について説明しています。
- 取扱説明書 ブラウザ編 (本書 : PDFファイル) : ブラウザからのアクセスについて説明しています。

PDFファイルをお読みになるには、Adobe社のAdobe® Acrobat Reader®日本語版が必要です。パソコンにAcrobat Reader日本語版がインストールされていないときは、Adobe社のホームページから最新のAcrobat Reader日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

重要

- 取扱説明書 設定編の入手は、パナソニックプロダクトサーチウェブサイト (<https://partner.connect.panasonic.com/jp-ja/products-services>) からダウンロードしてください。

■必要なパソコンの環境

CPU	1 GHz以上の32ビット(x86)プロセッサまたは64ビット(x64)プロセッサ
メモリ	1 GB (32ビット) または 2 GB (64ビット)
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX 1ポート
対応OS	Microsoft Windows 8.1 Pro 32ビット日本語版 Microsoft Windows 8.1 Pro 64ビット日本語版 Microsoft Windows 10 Pro 32ビット日本語版 Microsoft Windows 10 Pro 64ビット日本語版
ウェブブラウザ	Microsoft Windows Internet Explorer 11 日本語版 Microsoft Edge

はじめに

■商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat Reader および Adobe Reader は、Adobe の商標です。
- Microsoft、Internet Explorer、Microsoft Edge、Windows は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ネットワークセキュリティ

重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール、FTP サーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、それらの情報を格納しているサーバーや各種接続機器に対してユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本商品にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのブラウザーを閉じてください。
- 管理者のパスワードは、セキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

■略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft Windows 8.1 Pro 32ビット日本語版、Microsoft Windows 8.1 Pro 64ビット日本語版、Microsoft Windows 10 Pro 32ビット/64ビット日本語版を Windows と表記しています。
- SDHC／SDメモリーカードを SD カードと表記しています。
- Universal Plug and Play を UPnP™ または UPnP と表記しています。

もくじ

はじめに	2	情報表示メニュー	33
商品概要	2	子機の状態を確認する	33
システムイメージ図	2	アラートの発生状況を確認する	34
運用について	3	ワイヤレスリピーターのバージョン情報を確認する ...	34
取扱説明書について	3		
必要なパソコンの環境	3		
商標および登録商標について	4		
ネットワークセキュリティ	4		
略称について	4		
使用上のお願い	6	故障かな!?	35
ルーターについて	6		
ブラウザ更新速度について	6		
対応ブラウザについて	6		
ネットワークについて	7		
接続例	7		
ネットワークセキュリティについて	7		
ブラウザ操作	8		
パソコンからセンターモジュールに接続する	8		
設定方法について	8		
操作画面について	9		
設定メニューについて	9		
設置時の設定・確認を行う	10		
子機のグループ設定を行う	17		
シングルトークの設定を行う	17		
店舗の設定を設定・確認する	18		
レーン設定の設定・確認を行う	19		
メッセージの設定を設定・確認する	20		
セキュリティアラートの設定を設定する	25		
SDカードの空き容量を確認する	26		
クイック設定を設定する	27		
設定をバックアップする	27		
センターモジュールのメンテナンスを行う	28		

使用上のお願い

■ルーターについて

ルーターを使用してセンターモジュールをインターネットに接続する場合、ポートフォワーディング機能(NAT、IPマスカレード)付きのブロードバンドルーターを使用してください。

■ブラウザ更新速度について

ブラウザ更新速度は、ご利用のネットワーク環境、パソコンの性能、アクセス数により遅くなることがあります。

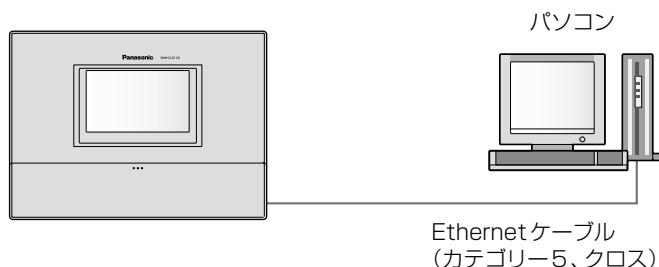
■対応ブラウザについて

本機はInternet Explorer 11とMicrosoft Edgeに対応しています。他のブラウザや異なるバージョンのInternet Explorerをご使用の場合、正しく表示されなかったり、正常に動作しないことがあります。

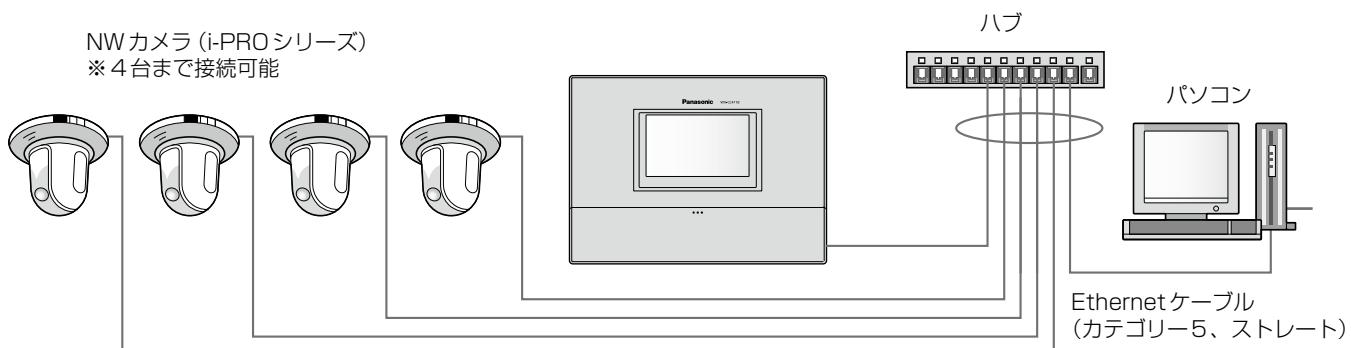
ネットワークについて

■接続例

●パソコンと直接接続する場合



●ハブを接続してネットワークに接続する場合



■ネットワークセキュリティについて

センターモジュールに装備されているセキュリティ機能

① ユーザー認証によるアクセスの制限

センターモジュールにアクセスするユーザーを制限することができます。

② HTTP ポートの変更によるアクセスの制限

HTTP ポート番号を変更することで、ポートスキャニングなどの不正アクセスを防止できます。

③ HTTPS 機能によるアクセスの暗号化

HTTPS 機能を使用することで、センターモジュールへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

重要

- 認証情報（ユーザー名、パスワード）、各種サーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証でアクセス制限する、HTTPS 機能でアクセスを暗号化するなどの対策を実施してください。
- センターモジュールにアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのブラウザを閉じてください。
- ユーザー ID、パスワードはセキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

メモ

- 同じ IP アドレスのパソコンから 30 秒間に 8 回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、しばらくの間、センターモジュールにアクセスできなくなります。
- 以下の場合は、ボタン操作を行っても反映されず、認証後の画面に移動します。
 - 画面の切り替えや [Set] ボタンのクリック等を行わないで、20 分以上経過したとき
 - センターモジュールに無アクセスのまま 20 分以上経過したとき

ブラウザ操作

■パソコンからセンターモジュールに接続する

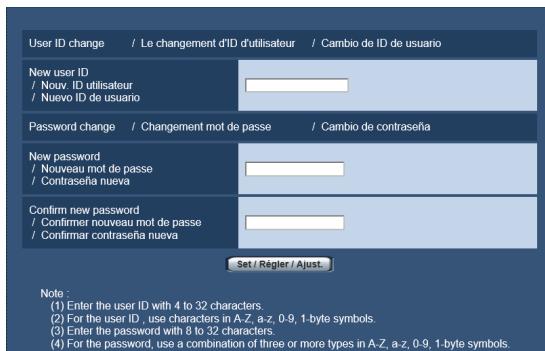
- 1 パソコンのウェブブラウザを起動します。
- 2 センターモジュールのIPアドレスをウェブブラウザの【アドレスバー】に入力します。
例) http://センターモジュールのIPアドレス
工場出荷時は以下の設定で動作します。
IPアドレス : 192.168.0.50
ポート番号 : 80
プロトコル : http

重要

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://センターモジュールのIPアドレス : ポート番号」を【アドレスバー】に入力してください。
例) ポート番号が8080に設定されている場合：
http://192.168.0.50:8080

3 <初回接続時>

パソコンのセンターモジュールへの初回接続時、センターモジュールとパソコンの接続が確立すると、ユーザー名/パスワード設定画面が表示されます。



画面にしたがって、ユーザー名、パスワード、およびパスワード確認を入力して [Set] をクリックします。

[New user ID]

ユーザー名を入力します。

入力可能文字数 : 4 ~ 32 文字

入力可能文字 : 半角英(大文字)、半角英(小文字)、半角数字、半角記号 !#\$%'()=~{}<>?_-^[]/@*..;+¥の4種類のうち3種類以上を使用してください。

[New password]

新しいパスワードを入力します。

入力可能文字数 : 8 ~ 32 文字

入力可能文字 : 半角英(大文字)、半角英(小文字)、半角数字、半角記号 !#\$%'()=~{}<>?_-^[]/@*..;+¥の4種類のうち3種類以上を使用してください。

[Confirm new password]

確認のため新しいパスワードを入力します。

入力可能文字数 : 8 ~ 32 文字

入力可能文字 : 半角英(大文字)、半角英(小文字)、半角数字、半角記号 !#\$%'()=~{}<>?_-^[]/@*..;+¥の4種類のうち3種類以上を使用してください。

- ユーザー名とパスワードを設定後は、表示されるメッセージにしたがって、ウェブブラウザを閉じて、アクセスし直してください。

<2回目以降の接続時>

センターモジュールとパソコンの接続が確立すると、認証ポップアップが表示されます。設定したユーザー名とパスワードを入力します。

- 認証が成功すると、操作画面が表示されます。

メモ

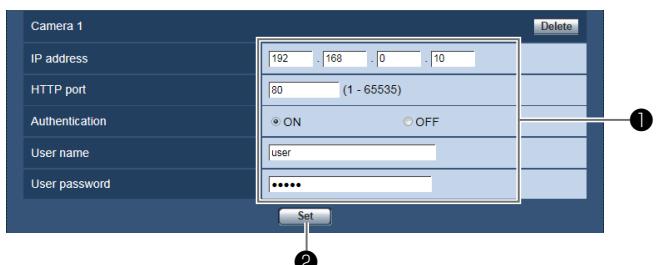
- センターモジュールのIPアドレスはセンターモジュールの画面で確認することができます。詳しくは取扱説明書「設置編」をお読みください。

重要

- セキュリティを確保するため、ユーザー名やパスワードは定期的に変更してください。詳しくは「認証を設定する [User mng.]」(31ページ) を参照してください。

■設定方法について

ブラウザ操作で設定を行う場合の基本的な操作方法について説明します。



- 1 設定項目に必要な内容を入力します。

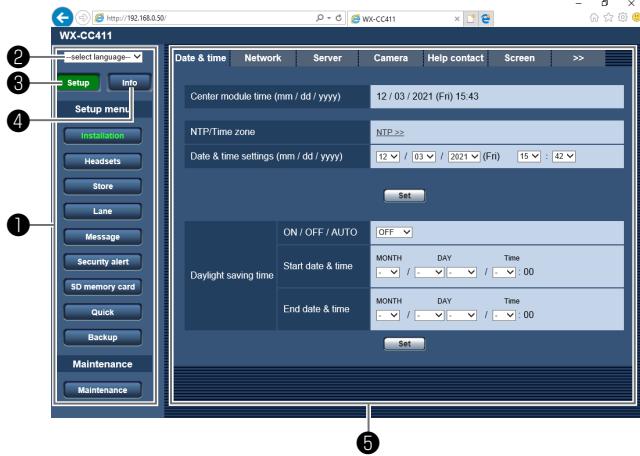
- 2 [Set] ボタンをクリックします。

重要

- [Set] ボタンをクリックしないと設定が反映されません。
- ボタンは連打しないでください。設定が正しく反映されない場合があります。

ブラウザ操作

■操作画面について



① メニューパネル

メニューごとにパネルを表示します。
メニューパネルには、設定メニューパネルと情報表示メニューパネルがあります。

② 言語切り替えプルダウン [select language]

画面に表示される言語を切り換えることができます。
切換可能な言語は英語、フランス語とスペイン語です。
認証後の画面は英語で表示されます。

③ 設定ボタン [Setup]

選択時はボタンが緑色に変わり、メニューパネルが設定メニューパネルに切り換わります。(右記)

④ 情報表示ボタン [Info]

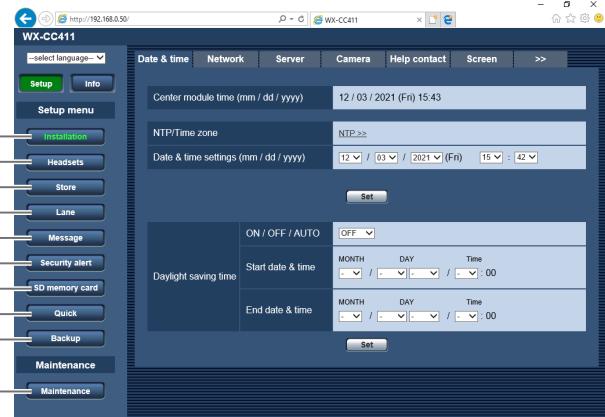
選択時はボタンが緑色に変わり、メニューパネルが情報表示メニューパネルに切り換わります。(33ページ)

⑤ メインエリア

選択したボタンに応じた画面を表示します。

■設定メニューについて

[Setup] ボタンをクリックすると、メニューパネルが設定メニューパネルに切り換わります。



Setup menu

① [Installation] ボタン

センター モジュールの設置設定に関する設定および設定の確認を行います。(10ページ)

② [Headsets] ボタン

グループ 1 ~ 6 に所属する子機を設定することができます。(17ページ)

③ [Store] ボタン

店舗運用に関わる設定を設定および確認します。(18ページ)

④ [Lane] ボタン

レーンの設定を設定および確認します。(19ページ)

⑤ [Message] ボタン

グリーターメッセージ、リマインダーメッセージ、アラートメッセージの設定を設定および確認します。グリーターメッセージとリマインダーメッセージはスケジュール設定を設定することができます。また、メッセージに使用している音源ファイルの差し替えやダウンロードすることができます。(20ページ)

⑥ [Security alert] ボタン

セキュリティアラート発生時の動作設定を設定します。(25ページ)

ブラウザ操作

⑦ [SD memory card] ボタン

センターモジュールに挿入されているSDカードの総容量と残容量を確認します。(26ページ)

⑧ [Quick] ボタン

センターモジュールの (クイック設定ボタン) をタッチして設定した運用設定を設定します。(27ページ)

⑨ [Backup] ボタン

センターモジュールの設定データおよびメッセージ用音源ファイルをバックアップすることができます。(27ページ)

Maintenance

⑩ [Maintenance] ボタン

各種メンテナンスを行います。

重要

- メンテナンスは保守担当者向けのメニューです。メンテナンスマニューで設定や操作を行うと店舗運用に影響を及ぼすことがあります。

■ 設置時の設定・確認を行う

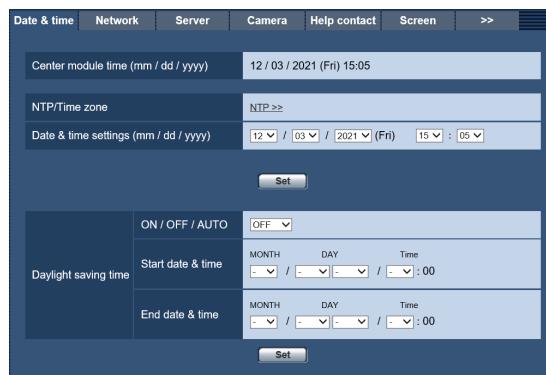
日時設定、ネットワーク設定、各種サーバー設定、ネットワークカメラ設定、ヘルプコンタクト、スクリーン設定、サイトインフォメーション、音質設定、オーダーポストマイクの設定、端子設定など設置に関する設定、設定の確認を行います。

画面を表示するには設定メニューパネルの [Installation] ボタンをクリックします。

● 日付設定を設定・確認する [Date & time]

センターモジュールの日付およびサマータイム設定を設定および確認します。

本画面を表示するには [Installation] ボタン→ [Date & time] タブをクリックします。認証後に以下の画面表示が表示されます。



[Center module time]

センターモジュールの現在日時が表示されます。

年月日は月/日/年の順で表示されます。時刻は24時間表示です。

[NTP/ Time zone]

[NTP>>] をクリックすると [Server] タブが表示されます。[Server] タブでNTPサーバーの設定を行うことができます。

[Date & time settings]

センターモジュールの現在日時を設定します。

年月日は月/日/年の順で表示されます。時刻は24時間表示です。

設定範囲：2020/01/01 00:00～2035/12/31 23:59

初期設定：センターモジュールに表示されている日時

[Daylight saving time ON / OFF / AUTO]

サマータイムの設定を行います。

ON： 時刻をサマータイムにします。(現在時刻を1時間進める)

OFF： サマータイムを解除します。

AUTO：開始日時、終了日時設定(月、週、曜日、時刻)にしたがって、サマータイム時刻に切り替えます。

初期設定：OFF

[Daylight saving time Start date & time], [Daylight saving time End date & time]

サマータイムの設定がAUTOのときの開始日時と終了日時を設定します。

ブラウザ操作

●ネットワーク設定を行う [Network]

センターモジュールのネットワーク設定を行います。
[Installation] ボタン→ [Network] タブをクリックします。

IPv4 network

DHCP / Static	<input checked="" type="radio"/> DHCP <input type="radio"/> Static
MAC address	4C-36-4E-37-C0-CB
IP address	192 . 168 . 0 . 50
Subnet mask	255 . 255 . 255 . 0
Default gateway	192 . 168 . 0 . 1
DNS Auto / Manual	<input checked="" type="radio"/> Auto <input type="radio"/> Manual
Primary DNS server address	[] . [] . [] . []
Secondary DNS server address	[] . [] . [] . []
Line speed	Auto
Set	
Web server	
Connection	HTTP
HTTP port	80 (1 - 65535)
HTTPS port	443 (1 - 65535)
Set	
UPnP	
Auto port forwarding	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
Set	

[DHCP/Static]

センターモジュールのDHCP設定を設定します。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

DHCP : DHCP設定がONで動作しています。

Static : DHCP設定がOFF（固定IPアドレス）で動作しています。

初期設定 : Static

[MAC address]

センターモジュールのMACアドレスを表示します。

[IP address]

センターモジュールのIPアドレスを設定します。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

初期設定 : 192.168.0.50

[Subnet mask]

センターモジュールのサブネットマスクを設定します。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

初期設定 : 255.255.255.0

[Default gateway]

センターモジュールのデフォルトゲートウェイを設定します。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

初期設定 : 192.168.0.1

[DNS Auto / Manual]

DNSサーバーのアドレスを自動（「Auto」）で取得するか、手動で入力する（「Manual」）かを設定します。
「Manual」に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。

DHCP機能を使用する場合は、「Auto」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

初期設定 : Manual

[Primary DNS server address]、[Secondary DNS server address]

「DNS」を「Manual」で使用する場合、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。

DNSサーバーのIPアドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

初期設定 : なし（空白）

[Line speed]

センターモジュールのネットワーク通信速度設定を設定します。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

初期設定 : Auto

Web server

[Connection]

センターモジュールへの接続方法を設定します。

HTTP : HTTP接続のみ可能になります。

HTTPS : HTTPS接続のみ可能になります。

初期設定 : HTTP

[HTTP port]

HTTPで使用するポート番号を設定します。

設定可能ポート番号 : 1 ~ 65535

初期設定 : 80

[HTTPS port]

HTTPSで使用するポート番号を設定します。

設定可能ポート番号 : 1 ~ 65535

初期設定 : 443

重要

- Web server設定を変更するとセンターモジュールは自動的に再起動します。
- HTTPSを選択した場合、センターモジュールはSSLサーバー証明書を自動的に生成します。SSL自己証明書のみに対応しています。
- 以下のポート番号は、設定できません。（ただし、初期設定で設定されているポート番号を除く）
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

ブラウザ操作

UPnP

センターモジュールは、UPnP (Universal Plug and Play)に対応しています。UPnP機能を使用すると、以下の設定を自動で行うことができます。

ルーターのポートフォワーディング機能を設定してください。(ただし、UPnP対応のルーターが必要です。) この設定はインターネットからセンターモジュールにアクセスする場合に便利です。

[Auto port forwarding]

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをON／OFFで設定します。自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。
初期設定：OFF

メモ

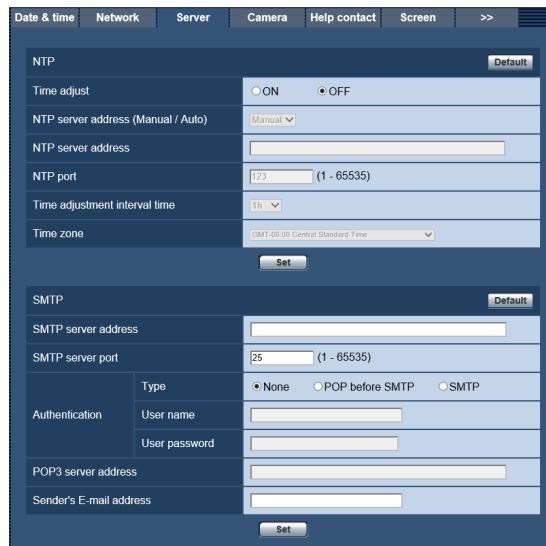
- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、パソコンに登録されているセンターモジュールのポート番号を変更する必要があります。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、設定メニュー画面の [Maintenance] ボタンの [Status] タブをクリックし、[UPnP] のステータスが [Enabled] になっていることを確認します。

重要

- UPnPの設定を変更するとセンターモジュールは自動的に再起動します。
- ポートフォワーディング設定変更時はルーターの取扱説明書にしたがって、ルーターの状態を確認してください。

● サーバー設定を行う [Server]

センターモジュールが接続するサーバーの設定を行います。[Installation] ボタン→ [Server] タブをクリックします。



NTP

NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使用してください。

[Default] ボタン

NTPの設定を初期設定に戻します。

[Time adjust]

NTPサーバーから時刻を取得するかどうかの設定を行います。

ON : NTPサーバーと同期し、センターモジュールの日時を自動調整します。

OFF : NTPサーバーと同期しません。

初期設定：OFF

[NTP server address (Manual / Auto)]

[Time adjust] で [ON] を選択した場合、NTPサーバーのアドレス取得方法を選択します。

Manual : NTPサーバーアドレスを [NTP server address] に入力して設定します。

Auto : DHCPサーバーからNTPサーバーのアドレスを取得します。

初期設定：Manual

重要

- 「NTP server address」をDHCPサーバーから取得する場合は、センターモジュール側の操作によりDHCP機能を有効にする必要があります。

ブラウザ操作

[NTP server address]

[NTP server address (Manual / Auto)] で「Manual」を選択した場合は、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号 -

初期設定：なし（空白）

重要

- 「NTP server address」にホスト名を入力するには、設定メニューパネルの [Installation] ボタンの [Network] タブでDNSの設定を行う必要があります。

[NTP port]

NTPサーバーのポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65535

初期設定：123

重要

- 以下のポート番号は、設定できません。（ただし、初期設定で設定されているポート番号を除く）
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

[Time adjustment interval time]

NTPサーバーから時刻を取得する間隔（1～24時間で1時間単位）を選択します。

初期設定：1h

[Time zone]

使用する地域に応じたタイムゾーンを選択します。

初期設定：GMT-06:00 Central Standard Time

SMTP

センター モジュールからメールを送信するためのメールサーバーの設定を行います。

[Default] ボタン

SMTPの設定を初期設定に戻します。

[SMTP server address]

電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号 -

初期設定：なし（空白）

[SMTP server port]

メールを送信するポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65535

初期設定：25

重要

- 以下のポート番号は、設定できません。（ただし、初期設定で設定されているポート番号を除く）
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

[Authentication]

・ Type

メールを送信するときの認証方法を以下から選択します。

None：認証しません

POP before SMTP：

電子メールを送信する前に、メールを受信するPOPサーバーの認証を行います。

SMTP：SMTPサーバーの認証を行います。

初期設定：None

メモ

- 電子メールを送信するための認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

・ User name

サーバーにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数：0～32文字

入力可能文字：半角英数字、

半角記号 !#\$%'()=~`{}<>?-^[]/@*,.,+

初期設定：なし（空白）

・ User password

サーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～32文字

入力可能文字：半角英数字、

半角記号 !#\$%'()=~`{}<>?-^[]/@*,.,:+¥

初期設定：なし（空白）

[POP3 server address]

[Authentication Type] で [POP before SMTP] を選択した場合は、POP3サーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号 -

初期設定：なし（空白）

[Sender's E-mail address]

送信元のメールアドレスを入力します。入力したメールアドレスは、受信メールの「From（差出人）」欄に表示されます。

入力可能文字数：3～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号 @ . _ -

初期設定：なし（空白）

ブラウザ操作

●接続するネットワークカメラの設定を行う

[Camera]

センターモジュールの液晶画面に表示するネットワークカメラの設定を行います。ネットワークカメラの設定を行うと車両感知器、セキュリティアラートに連動してセンターモジュールの画面にカメラ映像を表示することができます。
[Installation] ボタン→ [Camera] タブをクリックします。



Camera1 ~ 4

センターモジュールは最大4台のネットワークカメラと接続することができます。ここでは接続するネットワークカメラの設定を行います。

重要

- センターで接続可能なネットワークカメラはi-PROシリーズのネットワークカメラです。
- ネットワークカメラ側の「接続方法」を必ずHTTPに設定してください。
- ネットワークカメラ側の設定は、以下のようにしてください。
 - ・アスペクト比： 4:3
 - ・画質：標準

[Delete] ボタン

ネットワークカメラの設定を初期設定に戻します。

[IP address]

接続するネットワークカメラのIPアドレスを入力します。

初期設定：なし(空白)

[HTTP port]

接続するネットワークカメラのポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65535

初期設定：80

[Authentication]

ネットワークカメラでユーザー認証設定が「ON」に設定されている場合は、本項目を設定してください。

ON : ネットワークカメラに接続時、ユーザー認証を行います。

OFF : ネットワークカメラに接続時、ユーザー認証を行いません。

[User name]

[Authentication] で [ON] を選択した場合、ネットワークカメラにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数：0～32文字

初期設定：なし(空白)

[User password]

[Authentication] で [ON] を選択した場合、ネットワークカメラにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～32文字

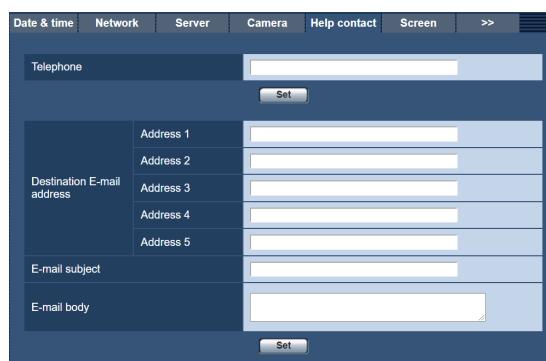
初期設定：なし(空白)

●ヘルプコンタクトの設定を行う

[Help contact]

センターモジュールの液晶画面で表示するヘルプコンタクト画面の電話番号とメールの送信設定の設定を行います。

[Installation] ボタン→ [Help contact] タブをクリックします。



[Telephone]

連絡先の電話番号を設定します。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

初期設定：なし(空白)

ブラウザ操作

ヘルプコンタクトメール送信設定

液晶画面のヘルプコンタクト画面から送信するメール内容を設定します。

[Destination E-mail address]

送信先アドレスを設定します。同報送信先を5つまで設定することができます。

入力可能文字数：3～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号@ . _ -

[E-mail subject]

メールの件名を入力します。

入力可能文字数：0～50文字

[E-mail body]

メールの本文を入力します。

入力可能文字数：0～200文字

メモ

- メールを送信する場合は事前にSMTPサーバーの設定が必要です。SMTPサーバーの設定は[Installation]ボタン→[Server]タブで行います。
- メールの本文には以下の代替文字を使用することができます。代替文字はメール送信時に応する文字列に変換されて送信されます。

代替文字	変換後の文字列
%d%	Help contactメール送信日 例) 05
%M%	Help contactメール送信月(英文字) 例) Feb
%m%	Help contactメール送信月(数字) 例) 02
%Y%	Help contactメール送信年(4桁) 例) 2014
%y%	Help contactメール送信年(下2桁) 例) 14
%t%	Help contactメール送信時刻 例) 15:00:00
%i%	センターモジュールのIPアドレス
%s%	Site informationで入力した情報

重要

- ヘルプコンタクトのメールを使用する場合は設置時にあらかじめ正常にメール送信できることをご確認ください。

●スクリーンの設定を行う [Screen]

センターモジュールのスクリーンセーバー設定と言語設定、および「タッチパネル調整」画面の表示を行います。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

本画面を表示するには[Installation]ボタン→[Screen]タブをクリックします。



[Screen saver]

OFF：スクリーンセーバー機能を使用しません。

ON：スクリーンセーバー機能を使用します。

初期設定：OFF

[Language]

センターモジュールの液晶画面に表示する言語を設定します。言語を選択して、[Set]ボタンをクリックしてください。表示言語は以下から選択します。

English：液晶画面に表示される文言を英語で表示します。

Français：液晶画面に表示される文言をフランス語で表示します。

Español：液晶画面に表示される文言をスペイン語で表示します。

初期設定：English

メモ

- センターモジュールの液晶画面の表示言語は、設定後、画面が切り替わったときに反映されます。

[Touch panel adjustment]

センターモジュールのタッチパネル調整画面を表示します。本機能は、液晶画面のボタンをタッチしても反応せず、「タッチパネル調整」画面へ遷移できない場合に使用します。

センターモジュールでタッチパネル上の (情報表示ボタン) をタッチして情報表示画面を表示させてから、ブラウザで[Execute]ボタンをクリックします。

メモ

- タッチパネル調整については、取扱説明書 設定編(PDFファイル)をお読みください。
- タッチパネル調整終了後、センターモジュールは情報表示画面に戻ります。
- タッチパネル調整が完了しない場合は販売店にご連絡ください。

ブラウザ操作

●次の画面を表示する [>>]

音質設定、オーダーポストマイクの設定、端子の設定およびサイトインフォメーションを確認する画面に移動します。

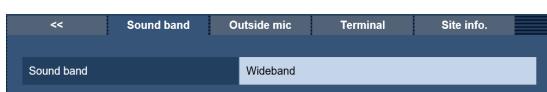
●前の画面を表示する [<<]

日時設定、ネットワーク設定、各種サーバー設定、ネットワークカメラ設定、ヘルプコンタクト、スクリーン設定など設置に関する設定や設定の確認を行う画面に移動します。

●音質設定を確認する [Sound band]

センターモジュールの音質設定を確認します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

本画面を表示するには [Installation] ボタン→ [Sound band] タブをクリックします。



[Sound band]

Wideband : 音声帯域を 100 Hz ~ 7 kHz に設定します。(高音質)

Narrowband : 音声帯域を 300 Hz ~ 3 kHz に設定します。(通常音質)

●オーダーポストマイクの設定を確認する [Outside mic]

オーダーポストに使用するマイクの設定を確認します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

本画面を表示するには [Installation] ボタン→ [Outside mic] タブをクリックします。



Lane A setting

[Outside mic]

Electret Microphone : WX-CM470 を使用します。

Microphone/Speaker : WX-CS460 を使用します。

●端子の設定を確認する [Terminal]

センターモジュールの端子 (ユーロブロック) の中の、ALERT4 端子および VDET1 端子に接続する外部機器や用途の設定を確認します。

この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

本画面を表示するには [Installation] ボタン→ [Terminal] タブをクリックします。

	<<	Sound band	Outside mic	Terminal	Site info.
ALERT4			Alert Input		
VDET1			V/Det		
Outside Speaker Beep			ON		

[ALERT4]

ALERT4 端子の設定を表示します。

Alert Input : ALERT4 端子をセキュリティアラート入力用として使用します。

Speed Team Button : ALERT4 端子にスピードチームボタンを接続して使用します。

[VDET1]

VDET1 端子の設定を表示します。

V/Det : VDET1 端子に車両感知器を接続して使用します。

Call Button : VDET1 端子にオーダーポスト呼び出し用ボタンを接続して使用します。

[Outside Speaker Beep]

タッチパネル式オーダーポストで呼び出し用ボタンを押したとき、オーダーポストスピーカーからビープ音を出力するかどうかの設定を表示します。

ON : ビープ音をオーダーポストスピーカーに出力します。

OFF : ビープ音をオーダーポストスピーカーに出力しません。

ブラウザ操作

●サイトインフォメーションの設定を行う

[Site info.]

店舗の連絡先や管理情報など、設置店舗固有の情報を入力します。ブラウザから店舗の情報を参照するときに使用します。本情報はブラウザからのみ設定・参照することができます。

[Installation] ボタン→ [Site info.] タブをクリックします。

入力可能文字数：0～200文字



■子機のグループ設定を行う

子機のグループ設定を行います。この項目はセンター モジュール側の操作でも設定を変更することができます。

画面を表示するには設定メニュー パネルの [Headsets] ボタンをクリックします。



参照するグループのタブ (Group 1～6) をクリックします。
ON： グループに所属 (登録) する子機です。

OFF： グループに所属しない (削除する) 子機です。

初期設定：すべて OFF

■シングルトークの設定を行う

シングルトークの設定を行います。この項目はセンター モジュール側の操作でも設定を変更することができます。

画面を表示するには設定メニュー パネルの [Headsets] ボタン→ [TALK] タブをクリックします。



[Single talk]

OFF： シングルトーク機能を使用しません。

ON： シングルトーク機能を使用します。

初期設定： OFF

ブラウザ操作

■店舗の設定を設定・確認する

ナイトタイムボリューム、ストアアワーズの設定を設定・確認します。
画面を表示するには設定メニュー面板の [Store] ボタンをクリックします。

●ナイトタイムボリュームの設定を設定・確認する [Nighttime volume]

ナイトタイムボリュームの設定を設定および確認します。
この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。
[Store] ボタン→ [Nighttime volume] タブをクリックします。



[Nighttime volume]

ナイトタイムボリュームを使用するかどうかの設定を行います。

OFF：オーダーポストスピーカーの音量レベルを変更しません。

ON：オーダーポストスピーカーの音量を小さくします。

Auto：毎日開始時刻、終了時刻にしたがって、自動的にオーダーポストスピーカーから出力される音声の音量を小さくします。

初期設定：OFF

[Level (-20 dB ~ 0 dB)]

音声の抑圧レベルを表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[Start time / Ending time]

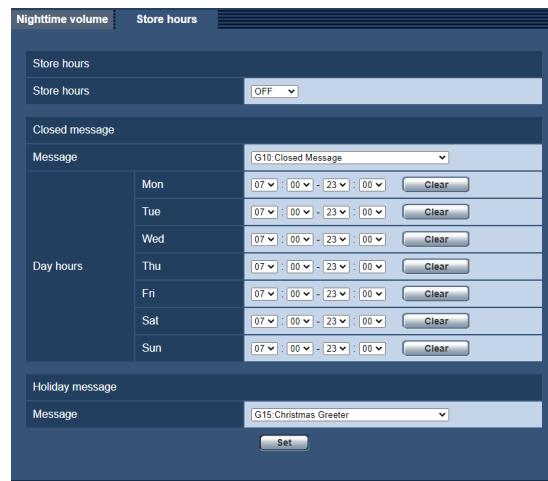
ナイトタイムボリュームの開始、終了時刻を設定します。

ナイトタイムボリューム設定で「Auto」を選択している場合はこの時刻に従って音量を制御します。

●ストアアワーズの設定を設定する

[Store hours]

ストアアワーズの設定を行います。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。
[Store] ボタン→ [Store hours] タブをクリックします。



Store hours

[Store hours]

ストアアワーズを使用するかどうかの設定を行います。

OFF：車両感知器がONの時、スケジュールで設定されたグリーターメッセージを再生します。

Auto：車両感知器がONの時、営業時間内であればスケジュールで設定されたグリーターメッセージを再生します。営業時間外であれば閉店用グリーターメッセージを再生します。

Closed：車両感知器がONの時、常に閉店用グリーターメッセージを再生します。レーンを閉鎖している時などに使用します。

Holiday：車両感知器がONの時、常に休日用グリーターメッセージを再生します。クリスマスやハロウィーンなど特別な日に流すグリーターメッセージに変更するときに使用します。

初期設定：OFF

Closed message

[Message]

営業時間外（ストアアワーズ設定がClosed、あるいはAUTOで営業時間外）のときに再生するグリーターメッセージを選択します。

初期設定：OFF

[Day hours]

各曜日の営業時間設定を設定します。

Holiday message

[Message]

[Store hours] 設定がHoliday設定のときに再生するグリーターメッセージを選択します。

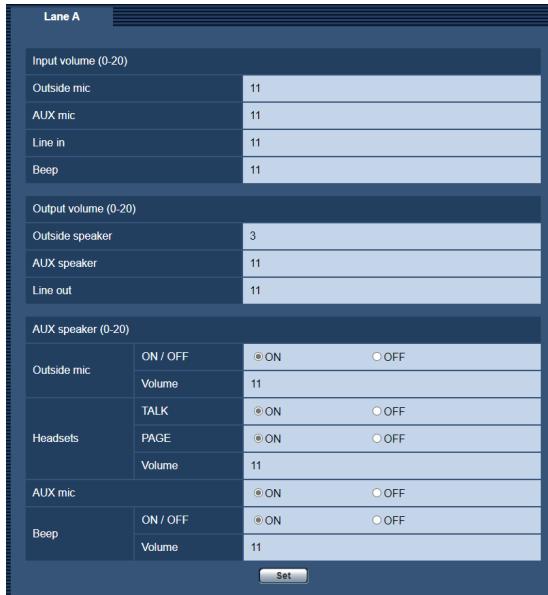
初期設定：OFF

ブラウザ操作

■レーン設定の設定・確認を行う

レーンの設定を設定および確認します。

画面を表示するには設定メニュー パネルの [Lane] ボタンをクリックします。



[Input volume (0-20)]

各入力の子機やオーダー ポストスピーカーに出力するボリュームを表示します。ボリュームの範囲は0～20です。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

Outside mic : オーダー ポストマイクのボリュームを表示します。

AUX mic : キッチンマイクのボリュームを表示します。

Line in : ライン入力のボリュームを表示します。

Beep : ビープ音のボリュームを表示します。

[Output volume (0-20)]

各出力のボリューム値を表示します。ボリュームの範囲は0～20です。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

Outside speaker : オーダー ポストスピーカーのボリュームを表示します。

AUX speaker : キッチンスピーカーのボリュームを表示します。

Line out : ライン出力のボリュームを表示します。

[AUX speaker (0-20)]

キッチンスピーカーに出力する入力音源とそのボリュームを表示します。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

Outside mic	ON/OFF	キッチンスピーカーにオーダー ポストマイクの音声を出力するかどうかの設定を行います。 初期設定：ON
	Volume	キッチンスピーカーに出力するオーダー ポストマイクのボリュームを表示します。
Headsets	TALK	キッチンスピーカーに子機の「TALK」音声を出力するかどうかの設定を行います。 初期設定：ON
	PAGE	キッチンスピーカーに子機の「PAGE」音声を出力するかどうかの設定を行います。 初期設定：ON
	Volume	キッチンスピーカーに出力する子機音声のボリュームを表示します。
AUX mic (ON/OFF)		キッチンスピーカーにキッチンマイクの音声を出力するかどうかの設定を行います。 初期設定：ON
Beep	ON/OFF	キッチンスピーカーにビープ音を出力するかどうかの設定を行います。 初期設定：ON
	Volume	キッチンスピーカーに出力するビープ音のボリュームを表示します。



[Device for Line in]

ライン入力の出力先を設定します。ライン音声の出力先は全子機、キッチンスピーカーに出力されます。

詳しくは販売店へお問い合わせください。

ブラウザ操作

[Source for Line out]

ライン出力の入力音源を設定します。ライン音声の出力先はオーダーポストスピーカーに出力される音源と同じです。詳しくは販売店へお問い合わせください。

[DSP]

音声信号処理に関する3つの機能(エコーフィルタ、デジタルノイズリダクション、ASLC)の設定を表示します。
Echo Canceller : エコー抑圧レベルを表示します。(OFF/LOW/MID/HIGH)

Inbound DNR/Outbound DNR :

ノイズ抑圧レベルを表示します。(OFF/LOW/MID/HIGH)

ASLC : 自動スピーカー音量制御を使用するかどうかの設定を表示します。

[V/Det Camera]

車両感知器に連動してセンターモジュールの液晶画面にネットワークカメラの映像を表示することができます。液晶画面に表示するネットワークカメラを選択します。

OFF : ネットワークカメラは車両感知器に連動しません。

Camera 1/2/3/4 : 車両感知器がONの時、連動してネットワークカメラの映像を液晶画面に表示します。

初期設定 : OFF

メモ

- NWカメラの映像を出力させるには事前に接続するカメラの設定が必要です。接続するカメラの設定は設定メニュー面板の[Installation]ボタン→[Camera]タブで行います。

■メッセージの設定を設定・確認する

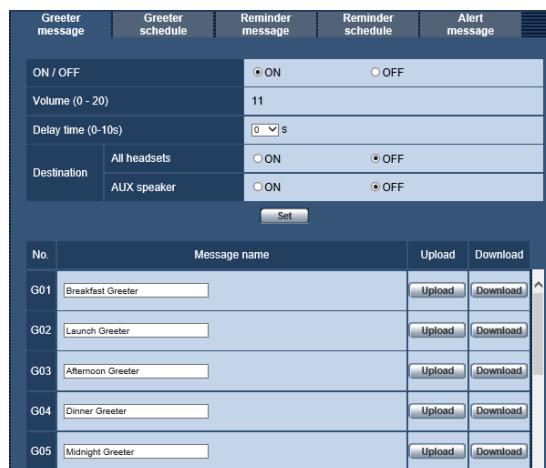
各種メッセージやスケジュールの設定の設定および確認を行います。

画面を表示するには設定メニュー面板の[Message]ボタンをクリックします。

●グリーターメッセージの設定と確認を行う

[Greeter message]

車両感知器ONの時に再生するグリーターメッセージの設定と確認を行います。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。[Message]ボタン→[Greeter message]タブをクリックします。



[ON/OFF]

グリーターメッセージを使用するかどうかの設定を行います。

OFF : グリーターメッセージを再生しません。

ON : グリーターメッセージを再生します。

初期設定 : ON

[Volume (0 - 20)]

グリーターメッセージのボリュームを表示します。

ボリュームの範囲は0～20です。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[Delay time (0 - 10s)]

車両感知器がONになってからグリーターメッセージを再生するまでの時間を設定します。範囲は0秒～10秒です。

初期設定 : 0s

[Destination]

グリーターメッセージ再生時、オーダーポストスピーカーの他に再生する放送先の設定を行います。

• All headsets

OFF : どの子機にも放送しません。

ON : すべての子機に放送します。

初期設定 : OFF

• AUX speaker

OFF : キッチンスピーカーには放送しません。

ON : キッチンスピーカーに放送します。

初期設定 : OFF

ブラウザ操作

Message一覧表

各グリーターメッセージの個別設定を行います。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

[No.]

グリーターメッセージの番号が表示されます。

[Message name]

グリーターメッセージの名称を設定します。

初期設定：Greeter nn (nn：メッセージ番号01～30)

[Upload] ボタン

音源ファイルをアップロードし、グリーターメッセージとして使用している音源ファイルを差し替えます。

[Download] ボタン

センターモジュールからグリーターメッセージに使用している音源ファイルをダウンロードします。音源ファイルが存在しない場合はボタンをクリックできません。

重要

- 音源ファイルは以下のフォーマットです。パソコンで再生・編集する場合は対応のソフトウェアをご使用ください。

形式：ADPCM (G.726)

サンプリング周波数：8 kHz

量子化ビット数：4 bit

アップロードできる音源ファイルは上記フォーマットで20秒以内の音源ファイルに限ります。

●グリーターメッセージのスケジュール設定を行う [Greeter schedule]

グリーターメッセージのスケジュール設定を行います。[Message] ボタン→ [Greeter schedule] タブをクリックします。

Greeter message	Greeter schedule	Reminder message	Reminder schedule	Alert message
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
Sat	Sun			
No.	Start time	Message		
1	07 ▾ 00 ▾	G01 Breakfast Greeter ▾		
2	11 ▾ 00 ▾	G02 Launch Greeter ▾		
3	14 ▾ 00 ▾	G03 Afternoon Greeter ▾		
4	17 ▾ 00 ▾	G04 Dinner Greeter ▾		
5	23 ▾ 00 ▾	G05 Midnight Greeter ▾		

[曜日]

選択した曜日のスケジュールを表示します。

スケジュールにはグリーターメッセージの切り換え時刻と再生するメッセージを表示します。

Schedule一覧

グリーターメッセージの切り替えスケジュールを設定します。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

[No.]

スケジュール番号が表示されます。

[Start time]

グリーターメッセージの切り替え時刻を設定します。

初期設定：- : -

[Message]

切り替えるグリーターメッセージのメッセージ番号と名称を設定します。

初期設定：OFF

ブラウザ操作

●リマインダーメッセージの設定と確認を行う

[Reminder message]

従業員に対して作業を促すため、定刻に再生するリマインダーメッセージの設定と確認を行います。[Message] ボタン→ [Reminder message] タブをクリックします。

Greeter message	Greeter schedule	Reminder message	Reminder schedule	Alert message	
ON / OFF		<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF			
Volume (0 - 20)		11			
		<input type="button" value="Set"/>			
No.	Message name	Destination Group	AUX	Upload	Download
R01	Wash Hands	<input checked="" type="checkbox"/> All headsets <input type="checkbox"/> Group1 <input type="checkbox"/> Group2 <input type="checkbox"/> Group3 <input type="checkbox"/> Group4 <input type="checkbox"/> Group5 <input type="checkbox"/> Group6	ON ▾	<input type="button" value="Upload"/>	<input type="button" value="Download"/>
R02	Cleaning Time	<input checked="" type="checkbox"/> All headsets <input type="checkbox"/> Group1 <input type="checkbox"/> Group2 <input type="checkbox"/> Group3 <input type="checkbox"/> Group4 <input type="checkbox"/> Group5 <input type="checkbox"/> Group6	ON ▾	<input type="button" value="Upload"/>	<input type="button" value="Download"/>
R03	Restroom Cleaning	<input checked="" type="checkbox"/> All headsets <input type="checkbox"/> Group1 <input type="checkbox"/> Group2 <input type="checkbox"/> Group3 <input type="checkbox"/> Group4 <input type="checkbox"/> Group5 <input type="checkbox"/> Group6	ON ▾	<input type="button" value="Upload"/>	<input type="button" value="Download"/>

[ON/OFF]

リマインダーメッセージを使用するかどうかの設定を行います。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

初期設定：ON

[Volume (0 - 20)]

リマインダーメッセージのボリュームを表示します。ボリュームの範囲は0～20です。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

Message一覧表

各リマインダーメッセージの個別設定を行います。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

[No.]

リマインダーメッセージの番号が表示されます。

[Message name]

リマインダーメッセージの名称を設定します。

初期設定：Reminder nn (nn : メッセージ番号01～30)

[Destination]

リマインダーメッセージの放送先を設定します。

• Group

リマインダーメッセージの放送先グループを設定します。

All Headsets : すべての子機に放送します。

Group番号 : 選択したグループに属する子機に放送します。

初期設定：All headsets

• AUX

リマインダーメッセージをキッチンスピーカーに出力するかどうかの設定を行います。

OFF : キッチンスピーカーには放送しません。

ON : キッチンスピーカーに放送します。

初期設定：ON

[Upload] ボタン

音源ファイルをアップロードし、リマインダーメッセージとして使用している音源ファイルを差し替えます。

[Download] ボタン

センターモジュールからリマインダーメッセージに使用している音源ファイルをダウンロードします。音源ファイルが存在しない場合はボタンをクリックできません。

重要

- 音源ファイルは以下のフォーマットです。パソコンで再生・編集する場合は対応のソフトウェアをご使用ください。

形式：ADPCM (G.726)

サンプリング周波数：8 kHz

量子化ビット数：4 bit

アップロードできる音源ファイルは上記フォーマットで20秒以内の音源ファイルに限ります。

ブラウザ操作

●リマインダーメッセージのスケジュール設定を行う [Reminder schedule]

リマインダーメッセージのスケジュール設定を行います。
[Message] ボタン → [Reminder schedule] タブをクリックします。

No.	Start - Ending time	Interval	Interval time	Message
1	07:00 - 22:00	ON	01	R01:Wash Hands
2	10:30 - - : -	OFF	-	R02:Cleaning Time
3	15:30 - - : -	OFF	-	R02:Cleaning Time
4	22:00 - - : -	OFF	-	R04:Closed Preparation

[曜日]

選択した曜日のスケジュールを表示します。
スケジュールにはリマインダーメッセージの再生時刻と再生するメッセージを表示します。

Schedule一覧

リマインダーメッセージの再生スケジュールを設定します。
この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

[No.]

スケジュール番号が表示されます。

[Start - Ending time]

リマインダーメッセージの再生開始時刻と繰り返し再生時の終了時刻を設定します。

初期設定：- : -

メモ

- 終了時刻はIntervalがON設定時のみ表示されます。
OFF設定時は「- -」と表示されます。

[Interval]

リマインダーメッセージを繰り返し再生するかどうかの設定を行います。

OFF：開始時刻に一度だけ再生します。

ON：開始時刻から定間隔でリマインダーメッセージを再生します。

初期設定：OFF

[Interval time]

リマインダーメッセージを繰り返し再生する場合の繰り返し間隔を設定します。繰り返し間隔は00:01～23:59の分単位です。

初期設定：- : -

メモ

- 繰り返し間隔はInterval timeがON設定時のみ表示されます。OFF設定時は「- -」と表示されます。

[Message]

再生するリマインダーメッセージのメッセージ番号と名称を設定します。

初期設定：OFF

ブラウザ操作

●アラートメッセージの設定を設定・確認する

[Alert message]

セキュリティアラート発生時に再生するアラートメッセージの設定と確認を行います。[Message] ボタン→ [Alert message] タブをクリックします。

[ON/OFF]

アラートメッセージを使用するかどうかの設定を行います。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

OFF：アラートメッセージを再生しません。

ON：アラートメッセージを再生します。

初期設定：ON

[Volume (0 - 20)]

アラートメッセージのボリュームを設定・確認します。ボリュームの範囲は0～20です。この項目はセンターモジュール側の操作で設定を変更することができます。

[Delay Time (0 - 10s)]

アラートが発生してからアラートメッセージを再生するまでの時間を設定します。範囲は0秒～10秒です。

初期設定：0s

Message一覧表

各アラートメッセージの個別設定を行います。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

[No.]

アラートメッセージの番号が表示されます。

[Message name]

アラートメッセージの名称を設定します。

初期設定：Alert nn (nn : メッセージ番号01～30)

[Destination]

• Group

アラートメッセージの放送先グループを設定します。

All Headsets：すべての子機に放送します。

Group番号：選択したグループに属する子機に放送します。

初期設定：All headsets

• AUX

アラートメッセージをキッチンスピーカーに出力するかどうかを設定します。

OFF：キッチンスピーカーには放送しません。

ON：キッチンスピーカーに放送します。

初期設定：ON

[Upload] ボタン

音源ファイルをアップロードし、アラートメッセージとして使用している音源ファイルを差し替えます。

[Download] ボタン

センター モジュールからアラートメッセージに使用している音源ファイルをダウンロードします。音源ファイルが存在しない場合はボタンをクリックできません。

重要

● 音源ファイルは以下のフォーマットです。パソコンで再生・編集する場合は対応のソフトウェアをご使用ください。

形式：ADPCM (G.726)

サンプリング周波数：8 kHz

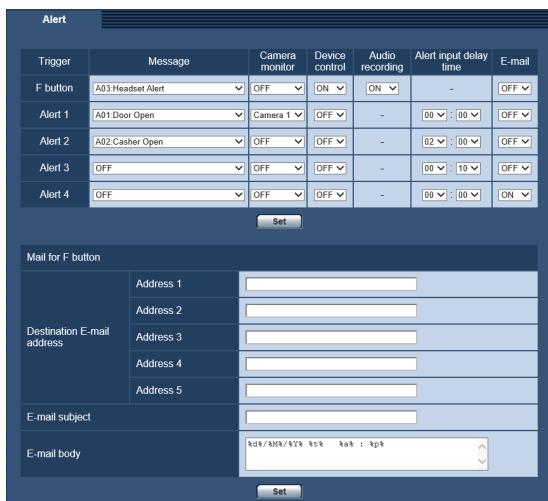
量子化ビット数：4 bit

アップロードできる音源ファイルは上記フォーマットで20秒以内の音源ファイルに限ります。

ブラウザ操作

■セキュリティアラートの設定を設定する

子機のFボタンやアラート入力1～4でセキュリティアラート通知を受け取ったときの動作を設定・確認します。画面を表示するには設定メニュー パネルの [Security alert] ボタンをクリックします。



アラート一覧表

セキュリティアラートの種別とセキュリティアラート発生時の動作を設定・確認します。

[Trigger] 列

各セキュリティアラートの種別を表示します。

[Message] 列

各セキュリティアラート発生時に再生するアラートメッセージを設定します。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

OFF : アラートメッセージを再生しません。

メッセージ番号 : アラートメッセージを再生します。

初期設定 : OFF

[Camera monitor] 列

各セキュリティアラート発生時に液晶画面に表示するネットワークカメラの番号を設定します。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

OFF : 液晶画面にネットワークカメラの映像を表示しません。

カメラ番号 : 液晶画面にネットワークカメラの映像を表示します。

初期設定 : OFF

[Device control] 列

各セキュリティアラート発生時に外部制御出力を制御するかどうかの設定を行います。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

OFF : 制御しません。

ON : 制御します。

初期設定 : OFF

[Audio recording] 列

子機のFボタンによるセキュリティアラート発生時にSDカードに通話音声を録音するかどうかの設定を行います。この項目はセンターモジュール側の操作でも設定を変更することができます。

OFF : 通話録音しません。

ON : 通話録音します。

初期設定 : OFF

[Alert input delay time] 列

アラート入力1～4が入力されてからセキュリティアラートを発生するまでの遅延時間を設定します。0秒から29分59秒の1秒単位です。

初期設定 : 00:00 (00分00秒)

[E-mail] 列

各セキュリティアラート発生、終了のタイミングでメールを送信するかどうかの設定を行います。

ON : アラート発生、終了のタイミングでメール設定に従ってメールを送信します。

OFF : アラート発生、終了のタイミングでメールを送信しません。

初期設定 : OFF

Mail for F button

子機のFボタンによるセキュリティアラート発生時、終了時に送信するメールの内容を設定します。アラート一覧で子機のFボタンによるセキュリティアラートを受け取ったときの動作にE-mailを設定した場合に有効になります。

メモ

- WX-CH457またはWX-CH455でのセキュリティアラート発生の操作方法は、WX-CH457またはWX-CH455の取扱説明書の「アラート通知」を参照してください。

[Destination E-mail address]

送信先アドレスを設定します。同報送信先を5つまで設定することができます。

入力可能文字数 : 3～128文字

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号@ . _ -

[E-mail subject]

メールの件名を入力します。

入力可能文字数 : 0～50文字

[E-mail body]

メールの本文を入力します。

入力可能文字数 : 0～200文字

ブラウザ操作

メモ

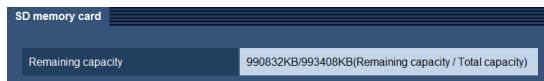
- メールを送信する場合は事前にSMTPサーバーの設定が必要です。SMTPサーバーの設定は [Installation] ボタン→ [Server] タブで行います。
- メールの本文には以下の代替文字を使用することができます。代替文字はメール送信時に対応する文字列に変換されて送信されます。

代替文字	変換後の文字列
%d%	アラート発生日 例) 05
%M%	アラート発生月(英文字) 例) Feb
%m%	アラート発生月(数字) 例) 02
%Y%	アラート発生年(4桁) 例) 2014
%y%	アラート発生年(下2桁) 例) 14
%t%	アラート発生時刻 例) 15:00:00
%a%	アラート発生状態 アラート発生時 : Alert Happened アラート終了時 : Alert Stopped
%p%	アラート要因 Alert端子 : Alert Input* (*は端子番号) 子機 : "Headset"
%i%	センターモジュールのIPアドレス
%s%	Site Informationで入力した情報

■SDカードの空き容量を確認する

センターモジュールに挿入されているSDカードの総容量と残容量を確認します。

画面を表示するには設定メニューパネルの [SD memory card] ボタンをクリックします。



[Remaining capacity]

SDカードの空き容量を表示します。「空き容量 / 総容量」で表示されます。
SDカードが未挿入の場合は「-----KB」と表示されます。

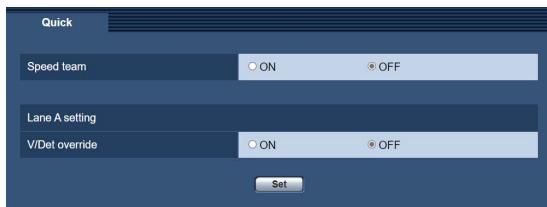
Mail for Alert * (* : 1 ~ 4)

アラート入力によるセキュリティアラート発生時、終了時に送信するメールの内容を設定します。設定内容は Mail for F button を参照してください。

ブラウザ操作

■ クイック設定を設定する

クイック設定を設定します。この項目はセンターモジュールで  (クイック設定ボタン) をタッチして設定を変更することもできます。
画面を表示するには設定メニュー パネルの [Quick] ボタンをクリックします。



[Speed team]

スピードチームの設定を行います。
OFF：スピードチームで動作しません。
ON：車両感知器を停止し、スピードチームで動作します。

Lane A setting

[V/Det override]

ブイディーオーバーライドの設定を行います。
OFF：車両感知器は車が接近したときにON状態になります。
ON：仮想的に車両感知器をON状態にします。

■ 設定をバックアップする

センターモジュールの設定およびメッセージをバックアップすることができます。
画面を表示するには設定メニュー パネルの [Backup] ボタンをクリックします。



[Execute] ボタン

クリックするとセンターモジュールの設定およびメッセージ用音源ファイルをパソコンにバックアップします。

メモ

- バックアップしたデータは、SDカードの以下のフォルダで解凍し、センターモジュールでリストアすればバックアップした時の設定に戻すことができます。
※FAT形式でフォーマットしたSDカードをご使用ください。
SDカードルート：
¥PRIVATE¥PANA_GRP¥PSN¥DWCS¥
BACKUP_B
- SDカード未挿入時はメッセージ用音源ファイルのバックアップを行うことはできません。
- 以下のセンターモジュールで取得したバックアップデータを、WX-CC411Bにリストアすることはできません。
また、WX-CC411Bで取得したバックアップデータを、以下のセンターモジュールにリストアすることもできません。
 - WX-CC411
 - WX-CC412
 - WX-CC411A
 - WX-CC412A

ブラウザ操作

■センターモジュールのメンテナンスを行う

機器固有の状態を確認したり、各種メンテナンスを行います。メンテナンスは保守担当者向けのメニューです。
画面を表示するには設定メニューパネルの [Maintenance] ボタンをクリックします。

●センターモジュールを確認する [Status]

センターモジュールのDECT ID、MACアドレス、UPnP のステータスを表示します。
[Maintenance] ボタン→ [Status] タブをクリックします。

Status	Recorded data	Log	Update	User mng.	System alert
DECT ID	0000000000				
MAC address	00-00-00-00-00-00				
UPnP					
HTTP	Port number	80			
	Status	Disabled			
HTTPS	Port number	443			
	Status	-			
Router global address		-			
Reboot			<input type="button" value="Reboot"/>		

[DECT ID]

センターモジュールのDECT ID を表示します。

[MAC address]

センターモジュールのMACアドレスを表示します。

UPnP

[HTTP]

HTTP接続時の情報を表示します。

・ [Port number]

UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

・ [Status]

ポートフォワーディングの状態が表示されます。

HTTPS接続時は、"-"になります。

[HTTPS]

HTTPS接続時の情報を表示します。

・ [Port number]

UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

・ [Status]

ポートフォワーディングの状態が表示されます。

HTTP接続時は、"-"になります。

[Router global address]

ルーターのグローバルアドレスが表示されます。

ブラウザ操作

重要

- [HTTP Status] / [HTTPS Status] はルーターおよびセンターモジュールが起動してから 10 分以上経過後に参照してください。
- ポートフォワーディングの [HTTP Status] / [HTTPS Status] が表す意味と対応方法は以下のとおりです。

表示	意味	対応方法
- (表示なし)	動作していない接続方法です。	接続方式を変更する場合は [Installation] ボタン → [Network] タブで接続方式を設定します。
Disabled	ルーターの UPnP 機能を利用したセンターモジュールのインターネットへの公開設定を行っていません。	[Installation] ボタン → [Network] タブの「UPnP」で「Auto port forwarding」を「ON」に設定してください。
Enabled	ルーターの UPnP 機能を利用したセンターモジュールのインターネットへの公開設定が正常に終了しています。	-
Setting	ルーターの UPnP 機能を利用したセンターモジュールの自動ポートフォワーディング設定を行っています。	ルーターに設定中ですので、しばらくお待ちください。
Deleting	ルーターに対して UPnP 機能を利用したセンターモジュールの自動ポートフォワーディングを無効に設定した後、ルーターの UPnP 設定の削除を行っています。	ルーターの UPnP 設定を削除中ですので、しばらくお待ちください。
Failed to set	ルーターが UPnP に対応していません。または、設定ができませんでした。	<ul style="list-style-type: none">● ルーターの UPnP 機能が無効になっている。 ルーターの取扱説明書を参照して、UPnP 機能を有効に設定してください。● ルーターに UPnP 機能がない。 ルーターの取扱説明書に従い、ポートフォワーディング設定を行ってください。● ルーターの電源が切れている。 ルーターの電源を入れたあとに、センターモジュールを再起動してください。● センターモジュールのネットワーク設定が Static の場合、ネットワーク設定が間違っている。 センターモジュールのネットワークのデフォルトゲートウェイ・サブネットマスクの設定を確認してください。● UPnP 対応ルーターを使用していて、有効になっていてもセンターモジュールがそのルーターに対応できない場合もあります。その場合、ルーターの取扱説明書にしたがい、ポートフォワーディング設定を行ってください。
Failed to delete	ルーターに対して UPnP 機能を利用したセンターモジュールのインターネットへの公開をしない設定にした後、ルーターの UPnP 設定の削除に失敗しました。	

[Reboot]

[Reboot] ボタンをクリックするとセンターモジュールは再起動します。

重要

- ブラウザ操作から再起動させると、センターモジュールの LCD には警告が表示されずに再起動します。ブラウザから再起動する際は必ず運用状況を確認してから実行してください。

ブラウザ操作

●通話録音の音源ファイルを取得する

[Recorded data]

子機のFボタン押下によるセキュリティアラート発生時に通話録音した音源ファイルを表示します。

[Maintenance] ボタン→ [Recorded data] タブをクリックします。

メモ

- WX-CH457、WX-CH455 には F ボタンはありません。セキュリティアラート発生の操作方法は、WX-CH457 または WX-CH455 の取扱説明書の「アラート通知」を参照してください。

Status	Recorded data	Log	Update	User mng.	System alert	
■ Delete	File	Lane	Download			
■	20130930_143430_A_01.WAV	A	<button>Download</button>			
■	20130930_143408_A_01.WAV	A	<button>Download</button>			
■	20130930_143345_A_01.WAV	A	<button>Download</button>			
■	20130930_143325_A_01.wav	A	<button>Download</button>			
■	20130930_143300_A_01.wav	A	<button>Download</button>			
■	20130930_143242_A_01.WAV	A	<button>Download</button>			
■	20130930_143224_A_01.WAV	A	<button>Download</button>			
■	20130930_143447_A_01.WAV	A	<button>Download</button>			

[Delete] チェックボックス

通話録音の音源ファイルをすべてチェック状態にします。
チェック状態の音源ファイルは [Delete] ボタンを押下すると削除することができます。

[File] 列

音源ファイルのファイル名が表示されます。

[Lane] 列

通話録音を行ったレーン「A」が表示されます。

[Download] ボタン

センターモジュールから通話録音の音源ファイルをダウンロードします。

[Delete] ボタン

チェックボックスで選択した音源ファイルを削除します。

重要

- 音源ファイルは以下のフォーマットです。パソコンで再生・編集する場合は対応のソフトウェアをご使用ください。
形式：ADPCM (G.726)
サンプリング周波数：8 kHz
量子化ビット数：4 bit
アップロードできる音源ファイルは上記フォーマットで20秒以内の音源ファイルに限ります。

●ログを取得する [Log]

センターモジュールの動作ログをダウンロードします。
[Maintenance] ボタン→ [Log] タブをクリックします。

Status	Recorded data	Log	Update	User mng.	System alert
Log data					<button>Download</button>

[Download] ボタン

ログファイルをダウンロードします。

重要

- ログの内容についてはお問い合わせいただいても回答できませんのであらかじめご了承ください。

ブラウザ操作

●ソフトウェアバージョンを確認する [Update]

ソフトウェアバージョンの確認を行います。また、ソフトウェアのバージョンアップを本画面から行うことができます。

[Maintenance] ボタン→ [Update] タブをクリックします。

System version	1.00R00	
CPU version	IPL	1.00R00
BBIC version	Application	1.00R00
DSP version		1.00R00

Update
Execute

[System version]

システムバージョンを表示します。

[CPU version]

CPUのバージョンを表示します。

[BBIC version]

BBICのバージョンを表示します。

[DSP version]

DSPのバージョンを表示します。

[Execute] ボタン

センターモジュールのソフトウェアをバージョンアップします。

●認証を設定する [User mng.]

ブラウザからセンターモジュールにアクセスする際の認証設定を行います。

[Maintenance] ボタン→ [User mng.] タブをクリックします。

Authentication
Digest or Basic
Set

User ID change
New user ID: admin
Password change
Old password
New password
Confirm new password
Set

[Authentication]

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

Digest : ダイジェスト認証を使用します。

Digest or Basic : ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。

Basic : ベーシック認証を使用します。

初期設定 : Digest

メモ

- [Authentication] の設定を変更した場合は、ウェブブラウザを閉じて、アクセスし直してください。

User ID change

[New user ID]

現在のユーザーIDが表示されます。ユーザーIDを変更する場合は新しいユーザー名を入力します。

入力可能文字数 : 4 ~ 32 文字

入力可能文字 : 半角英字(大文字)、半角英字(小文字)、半角数字、!#\$%'()=^{}<>?_-^[]/@*.+

ブラウザ操作

Password change

[Old password]

現在のパスワードを入力します。

入力可能文字数：8～32文字

入力可能文字：
半角英字（大文字）、半角英字（小文字）、
半角数字、半角記号 !#\$%`()=‐`{|<>?_-
^[]/@*,:;+¥ の4種類のうち3種類以上
を使用

[New password]

新しいパスワードを入力します。

入力可能文字数：8～32文字

入力可能文字：
半角英字（大文字）、半角英字（小文字）、
半角数字、半角記号 !#\$%`()=‐`{|<>?_-
^[]/@*,:;+¥ の4種類のうち3種類以上
を使用

[Confirm new password]

確認のため新しいパスワードを入力します。

入力可能文字数：8～32文字

入力可能文字：
半角英字（大文字）、半角英字（小文字）、
半角数字、半角記号 !#\$%`()=‐`{|<>?_-
^[]/@*,:;+¥ の4種類のうち3種類以上
を使用

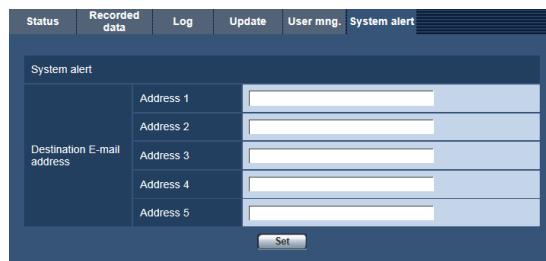
重要

- 複数のユーザーIDを作成することはできません。ユーザーIDを変更すると以前使用していたユーザーIDは削除されます。
- パスワードのみ変更する場合は [New user ID] に現在のユーザーIDを入力してください。
- ユーザーIDとパスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。
- 設定したユーザーIDとパスワードは忘れないように、必ず控えておいてください。

●システムアラート発生時のメール送付先を設定する [System alert]

センターモジュールを構成するデバイスに故障が発生した時にメールで通知することができます。ここではメールの送信先を設定します。

[Maintenance] ボタン→ [System alert] タブをクリックします。



[Destination Email address]

送信先アドレスを設定します。同報送信先を5つまで設定することができます。

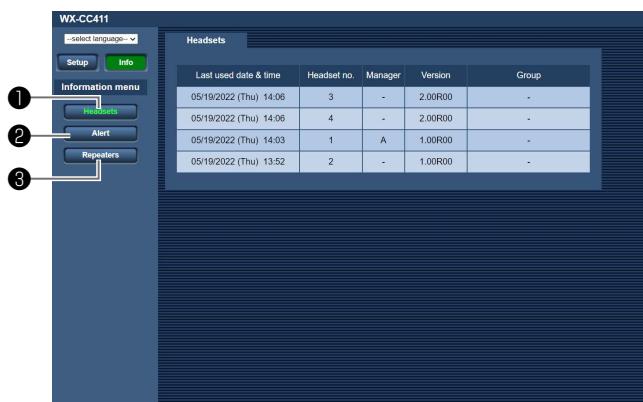
入力可能文字数：3～128文字

重要

- 故障内容によってはメールで通知することはできません。

情報表示メニュー

[Info] ボタンをクリックすると、メニュー パネルが情報表示 メニュー パネルに切り換わります。



① [Headsets] ボタン

センターモジュールに登録されている子機の状態確認を行います。

② [Alert] ボタン

センターモジュールで発生しているセキュリティアラートや故障発生アラートの状況確認を行います。

③ [Repeaters] ボタン

センターモジュールに登録されているワイヤレスリピーターの状態の確認を行います。

■子機の状態を確認する

センターモジュールに登録されている子機の状態を確認することができます。

本画面を表示するには情報表示メニュー パネルの [Headsets] ボタンをクリックします。

[Last used date & time]

子機が最後に使用された日時が表示されます。

[Headset no.]

子機の番号が表示されます。

メモ

- 子機の番号は子機を電源起動したときに鳴動するボイスプロンプトで確認することができます。

[Manager]

マネージャー子機設定の子機を表示します。

マネージャーであれば「A」が表示されます。

[Version]

子機のソフトウェアバージョンが表示されます。

[Group]

所属する子機のグループが表示されます。

情報表示メニュー

■アラートの発生状況を確認する

センターモジュールで発生しているセキュリティアラートや故障発生アラートの状況を確認します。
本画面を表示するには情報表示メニュー パネルの [Alert] ボタンをクリックします。

●セキュリティアラートの発生状況を確認する [Security alert]

現在発生中のセキュリティアラートを表示します。

Repeater		
Initiation time	Cause	Version
12/19/2013 (Thu) 16:13:27	F button	V1.00R00
12/19/2013 (Thu) 16:13:11	Alert 1	V1.00R00

[Initiation time]

セキュリティアラート発生日時を表示します。

[Cause]

発生しているセキュリティアラートの要因を表示します。

●システムアラートの発生状況を確認する [System alert]

センターモジュールを構成するデバイスの故障情報を表示します。

Repeater		
Initiation time	Cause	Version

[Initiation time]

システムアラート発生日時を表示します。

[Cause]

発生しているシステムアラートの要因を表示します。

重要

- 故障発生アラートが発生するとセンターモジュールは運用を継続することができません。故障発生アラートが発生した場合は直ちに販売店にお問い合わせください。

■ワイヤレスリピーターのバージョン情報を確認する

このタブではセンターモジュールに登録されているワイヤレスリピーターの状態を確認することができます。
本画面を表示するには情報表示メニュー パネルの [Repeaters] ボタンをクリックします。

Repeaters		
Lane	Repeater no.	Version
A	1	V1.00R00
A	2	V1.00R00

[Lane]

この列にはワイヤレスリピーターが登録されているレーンが表示されます。

[Repeater no.]

この列にはワイヤレスリピーターの番号が表示されます。

[Version]

この列にはワイヤレスリピーターのソフトウェアバージョンが表示されます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
	<ul style="list-style-type: none">● ネットワークコネクターにカテゴリー 5e 以上のケーブルは接続されていますか? → カテゴリー 5e 以上のケーブルをご使用ください。	—
	<ul style="list-style-type: none">● リンクランプは点灯していますか? → 点灯していない場合は、LAN に正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接觸不良、配線をお確かめください。	—
	<ul style="list-style-type: none">● センターモジュールの電源は入っていますか? → センターモジュールの電源が入っているか確認してください。	取扱説明書 設置編
	<ul style="list-style-type: none">● 間違った IP アドレスにアクセスしていませんか? → 次の方法で接続を確認してください。 Windows のコマンドプロンプトで > ping ***.***.***.*** (**はセンターモジュールに設定した IP アドレス) を入力してください。 センターモジュールから「Reply」が返ってくれば、正常に動作しています。 「Reply」が返ってこない場合は、センターモジュールで IP アドレスを確認してください。	取扱説明書 設定編
ウェブブラウザからアクセスできない	<ul style="list-style-type: none">● 設定した IP アドレスが他の機器と重複していませんか? → 重複している場合は、別の IP アドレスをご使用ください。	取扱説明書 設定編
	<ul style="list-style-type: none">● ネットワーク・サブネットマスクの設定は正しいですか? → 同一サブネット内にセンターモジュールとパソコンが接続されている場合: センターモジュールとパソコンの IP アドレスは共通のサブネットに設定してください。同一サブネット内のセンターモジュールにアクセスする場合は、センターモジュールのアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 → センターモジュールとパソコンが異なるサブネットに接続されている場合: センターモジュールに設定したデフォルトゲートウェイの値をご確認ください。	取扱説明書 設定編
	<ul style="list-style-type: none">● HTTPS 機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか? → HTTPS をご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。	P.11
	<ul style="list-style-type: none">● HTTP、HTTPS のポート番号を変更していませんか? → HTTP ポート番号や HTTPS ポート番号が変更されている場合は、ブラウザのアドレスバーに「http://センターモジュールの IP アドレス:ポート番号」を入力してください。	—

故障かな!?

現象	原因・対策	参照ページ
インターネットからセンターモジュールにアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> ● センターモジュールのネットワーク設定が間違っていませんか? → デフォルトゲートウェイまたはDNSサーバーアドレスを正しく設定してください。DDNSサービスを使う場合は、正しく設定されているか確認してください。 	P.11 取扱説明書 設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークの設定で、[デフォルトゲートウェイ]を設定していますか? → 正しく設定してください。 	P.11
	<ul style="list-style-type: none"> ● ルーターにポートフォワーディングが設定されていますか? → お使いのルーターにUPnP機能がない場合に、インターネットからセンターモジュールにアクセスできるようにするには、ポートフォワーディング設定が必要です。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。 	P.12
	<ul style="list-style-type: none"> ● ルーターのUPnP機能が無効になっていませんか? → お使いのルーターの取扱説明書を参照して、UPnP機能を有効にしてください。 	P.12
	<ul style="list-style-type: none"> ● ルーターに、インターネットからのアクセスを禁止するパケットフィルタリングなどを設定していませんか? → お使いのルーターを、インターネットからアクセスできるように設定してください。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書をお読みください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ● ローカルネットワークで使用するときのIPアドレス(ローカルアドレス)でアクセスしていませんか? → インターネットで使用するときのセンターモジュールのIPアドレスとしてグローバルアドレスと、センターモジュールのポート番号でアクセスしてください。 	—
メッセージ用音源ファイルのアップロードができない	<ul style="list-style-type: none"> ● SDカードが挿入されていますか? → SDカードが挿入されていない場合、アップロードを行うことができません。SDカードが挿入されていない場合、設定メニューパネルの[SD memory card]ボタンをクリックするとRemaining capacityに「*****KB/*****KB」と表示されます。 	P.26
	<ul style="list-style-type: none"> ● SDカードの容量は不足していませんか? → アップロードするファイルのサイズがSDカード残容量よりも大きい場合はアップロードを行うことができません。 	P.26
	<ul style="list-style-type: none"> ● SDカードがロックされていますか? → SDカードがロックされているとアップロードを行うことができません。 	—
ネットワークカメラの映像をセンターモジュールで表示できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークカメラのIPアドレス、ポート番号はありますか? ● ネットワークカメラの認証設定とありますか? → ネットワークカメラ側の「ユーザー認証設定」と本機の「ネットワークカメラの設定」(14ページ「接続するネットワークカメラの設定を行う」)が同じであることを確認してください。 	—

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリー ダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝日は受付のみ）
※携帯電話からもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号